



2023.3.13.

ワイン醸造実務ニュース（Oe-2/2023）

有機加工食品の日本農林規格（有機 JAS）が改正されます（2023/4/1 施行）

（有機酒類へ使用が認められる添加物が追加されます）

農水省の JAS 法（日本農林規格等に関する法律）では、新たに「有機酒類」の項目を設け、この有機酒類の添加物にアルゴン、ピロ亜硫酸カリウムが追加されます（2023年4月1日施行予定）。

詳細は下記の URL を参照ください

[kokujikaisei-287.pdf \(maff.go.jp\)](#)

（有機加工食品の日本農林規格の一部を改正する件 新旧対照表）

[有機食品の検査認証制度：農林水産省 \(maff.go.jp\)](#)

新旧対照表と内容は同じですが、有機食品の検査認証制度に関する情報があります。

「有機 JAS・告示等」の中の「有機加工食品」の「規格」（令和5年4月1日施行）に同じ内容のファイルがあります。

従来はワインの酸化防止剤としては二酸化硫黄（無水亜硫酸）だけが認められていました（国税庁告示：酒類における有機の表示基準 別表1）。この「酒類における有機の表示基準」は農水省の JAS（Japanese Agricultural Standards、日本農林規格）に「有機酒類」として統合され、使用できる添加物についてもアルゴン、ピロ亜硫酸カリウムが追加される予定です。

二酸化硫黄については実際の使用で多くの制約があり極めて困難だったと思われませんが、ピロ亜硫酸カリウムが認められることで有機ワインの製造拡大に繋がることも期待できます。

なお、海外でも EU（2021/1165 PART D）などでは従前よりピロ亜硫酸カリウムの使用は認められています。

以 上

文責 （一社）葡萄酒技術研究会 専務理事
村上安生